

せいそううどく 清爽得得

「晴れた日には田畑を耕し、雨の日には家に引きこもって読書する」。そんな晴耕雨読の生活に憧れます。私たちの毎日は、雨の日も晴れの日も、猛暑の夏も凍える冬も、掃除、掃除の連続。「いつも大変ねえ」と声をかけてくださる方もいますが、でも本当は、そんなに大変ではありません。清掃って、手を抜かずに一生懸命やっていると、不思議といろいろな“得”（徳？）がついてくるのです！

□□□□□□ たてものサービス通信・2020年・夏号（第32号） 株式会社たてものサービス □□□□□□

— ごあいさつ —

蒸し暑い日が続いていますが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。コロナの影響により随分と日常が変わりました。しかし変わらないのはこの時期特有の蒸し暑さ。現場では例年どおり今夏もぐんぐん伸び続ける雑草に悩まされています。雑草対策は大変ですが、「例年どおり、いつもどおり」を感じられることに、一方ではホッとしております。お客様には「いつもどおり」お仕事のご依頼、ご継続をいただき、本当に感謝しております。この夏も頑張ってお掃除をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

除菌清掃、実施中！

オキシヴィル・ファイブで清掃しています

◎共用部の除菌清掃を実施しております

弊社でも、共用部清掃において除菌拭きの実施が“ニューノーマル”となりました。現在、居住者の方々が手で触れる次のような箇所を「オキシヴィル・ファイブ」という除菌・徐ウイルスクリーナーで拭くようにしております。

- ・エントランスドアノブ
- ・ゴミ置き場扉やゴミストッカー扉の取っ手
- ・エレベーター内外のボタン
- ・(状況により) 集合ポスト、宅配BOX、手すり、他なおオフィス清掃においては、昨年秋より順次、同クリーナーを使用した清掃方法に転換しています。



◎トイレ清掃関連のサービスメニューが増えました

オフィス清掃部門では以下の商品・サービスを新しく扱うこととなりました。

- ・抗菌トイレマット：珪藻土をベースとした抗菌・脱臭マットです。
- ・ピュアレットS：除菌・徐ウイルス効果の高いトイレディスペンサーです。
- ・セラミックシールド：陶器の再汚染を防ぐ簡易コーティング剤（施工）です。

抗菌トイレマット	ピュアレットS	セラミックシールド
		

◎リクエストカードを同封いたしました

些細なことでも結構ですので、ご意見やご要望がございましたら、ご指導くださいますようよろしくお願いいたします。

弊社でもコロナの影響により一部の仕事が増えました。ほとんどはオフィス清掃でした。テレワークでオフィスを必要としなくなれば、オフィスの清掃も不要になります。「しばらく掃除を止めてほしい」というお客様からの電話が続きました。業務は粛々と続けさせていたいただきました。就業時間は以前に比べ短くなりました。帰宅時間も早くなり、以前はそうではなかったのですが、夜も朝も家族全員で食卓を囲むようになりました。自粛のためこういった話題もない家族団らんですが、それはそれで「有り難い」時間となりました。仕事第一という思い・価値観が骨髄まで染み込んでいたと思いますが、こうして仕事との「距離」を取らざるを得なくなったことで、頭がリセットされ、客観的な視点で日常やあり方を見つめ直すことができました。ソーシャルディスタンスも大切ですが、仕事と自分との間を適度に保つことも大事にしたい。コロナに翻弄されつつも、何かをつかみたいと思う今日この頃です。(鈴)

現場だより

★★ ゴミの対応 ★★

共用部清掃において欠かせない作業のひとつがゴミの対応です。ゴミ置き場には、処理に困るさまざまなゴミが出されます。最近では、20のペットボトルいっぱいに入った注射針（複数本）が置かれていました。過去には、箱ケースに入ったままのコーヒー缶（24本）、たっぶり中身が残った自家製の梅酒ビン、等々、色々なものと格闘(?)してきました。

下の写真はチラシ専用のゴミ箱なのですが、ここでも小さな闘いが続いております。このチラシ用ゴミ箱ですが、いつも家庭ゴミが捨てられ、それでいっぱいになってしまいます。



「チラシ専用」と側面にも上部にも書いているのですが、それでもご理解をいただけませんでしたので、フタを開けた際にも警告表示が現れるようにしてみました。

【清爽得得】掃除でイコトありました 仕事とのディスタンス...

4月のことでした。胃に不快感をおぼえる日が続きました。調子が戻るまでに数週間かかりました。

胃痛の原因はなんだったのか。そのときはわかりませんでした。恐らくあれはコロナのせいだったのだと思います。感染したというわけではなく、コロナ禍により自覚しないうちにたまった心労が、胃痛という症状になって現れたのだと思います。

ストレス状況下にあるときに、よく「胃が痛い」と言ったりしますが、その表現は比喩ではなく、人間追い込まれると本当に胃がやられるのだと、今回はじめて知りました。

弊社でもコロナの影響により一部の仕事が増えました。ほとんどはオフィス清掃でした。テレワークでオフィスを必要としなくなれば、オフィスの清掃も不要になります。「しばらく掃除を止めてほしい」というお客様からの電話が続きました。業務は粛々と続けさせていたいただきました。就業時間は以前に比べ短くなりました。帰宅時間も早くなり、以前はそうではなかったのですが、夜も朝も家族全員で食卓を囲むようになりました。自粛のためこういった話題もない家族団らんですが、それはそれで「有り難い」時間となりました。仕事第一という思い・価値観が骨髄まで染み込んでいたと思いますが、こうして仕事との「距離」を取らざるを得なくなったことで、頭がリセットされ、客観的な視点で日常やあり方を見つめ直すことができました。ソーシャルディスタンスも大切ですが、仕事と自分との間を適度に保つことも大事にしたい。コロナに翻弄されつつも、何かをつかみたいと思う今日この頃です。(鈴)

— こんな会社づくりを目指しています — (たてものサービスの会社理念)

「私たち株式会社たてものサービスは、「掃除」を通して自分を磨き、お客様、働く仲間、そして家族のキラキラ輝く笑顔を守ります」

サービス向上のため、「もっとこうして欲しい」などのご意見がありましたら、ぜひお寄せ下さい。